

特定非営利活動法人モバイル学会共催

AI/ビッグデータ時代の 大学教育を考察する

日時 2018年9月29日(土)
10:00-17:30(受付時間9:30~)

場所 青山学院大学青山キャンパス
15号館5・6階 / 17号館3階特設会場

※公開セミナー第一部と第二部は別々に申し込みが必要です。
両方参加をご希望される方は両方参加希望の旨、明記してください。

2009年Trilling と Fadelが、21世紀型スキル教育の必要性を強調し、7Csの教育を提唱した。また、2013年9月にオックスフォード大学のオズボーン准教授が702の職業のうち47%が、10~20年後にはAIを備えた機械にとって代わられるであろうと予測をした衝撃的な論文を発表した。すなわち未来型の教育として、7Cs+Coexistence with AI/Big Data/Roboticsの活用がSociety 5.0時代には必要不可欠といえます。

今回のセミナーでは、AIやBigデータを活用した教育が現状どう行われているのか、基調講演者にその分野の専門家お二人をお招きして、新時代の教育に関して情報を得たいと考えています。またモバイル学会との共催で、研究発表も準備いたしました。大学の教職員はもちろん、小中高大の先生方や教育関係者各位、学生・院生の参加も歓迎いたします。

——小張 敬之
(外国語ラボラトリー所長/青山学院大学経済学部教授)

第一部

講演①

"E-learning, tablettes et smartphone ;
l'intérêt des nouvelles technologies pour favoriser
l'apprentissage de la langue française"

※フランス語による発表

Eラーニング、タブレット、
スマートフォンを使用する
優れた新フランス語学習法

ADAMI, Sylvain (青山学院大学文学部フランス文学科准教授)
DURRENBERGER, Vincent (上智大学ほか非常勤講師)

講演②

アマゾン・アレクサの教育利用の可能性

菊池 尚代(青山学院大学地球社会共生学部准教授)

講演③

Student and Teacher Assessment of CALL and MALL ※英語による発表

PAGEL, James W. (青山学院大学理工学部教授)

LAMBACHER, Stephen G. (青山学院大学社会情報学部准教授)

第二部

基調講演①

「マルチメディア・データベースを活用した
アクティブ・ラーニング：
英語学習の成功・失敗事例からの考察」

野澤 和典(立命館大学情報理工学部特任教授)

基調講演②

「最新のAI技術と教育分野における
応用の展望・可能性」

櫻井 鉄也(筑波大学人工知能科学センターセンター長/教授)

対 象：小・中・高・大学教員、学生・院生、
教育関係者

参加方法：事前申し込み制(参加費無料)

※10:00~15:00

出展ブースにて協賛、協力各社製品のデモンストレーションを実施
(参加予定:協賛:チエール株式会社、協力:株式会社内田洋行、Global8、Xreading)

情報の更新は
ウェブサイトでお知らせします

<http://www.agufl.aoyama.ac.jp/>

①当日の公開セミナーの様子は撮影し、広報や開催報告などに掲載することがあります。
ご了承のうえ、ご参加ください。

②取得した個人情報につきまして、本公開セミナーに関するご連絡、及び今後開催予定の公開セミナーのご案内に利用させていただきます。それ以外の目的で利用することはありません。

③学内での動画撮影、静止画撮影はご遠慮ください。

申込方法

右記事項を明記の上、
e-mailにて9月21日(金)までに
お申し込みください。

申込先

青山学院大学附置 外国語ラボラトリー
e-mail: fllweb@aoyamagakuin.jp
(エフ エル エル ダブルユー イー ビー @~)

- ①メールの件名:公開セミナー2018
- ②氏名(フリガナも)
- ③所属
- ④e-mailアドレス
- ⑤希望する講演(第一部/第二部/第一部と第二部)

「マルチメディア・データベースを活用した
アクティブ・ラーニング: 英語学習の成功・失敗事例からの考察」

基調
講演
1

野澤 和典 (NOZAWA Kazunori)

現在立命館大学情報理工学部特任教授及び独立大学院言語教育情報研究科教授。米国カンザス大学修士課程を修了。英語教育学、異文化コミュニケーション学、教育工学が専門で学際的なアプローチで教育研究。豪州のボンド大学(1994-95)、クイーンズランド大学(1995)、クイーンズランド工科大学(2010-2011)、カナダのプリティッシュ・コロンビア大学(2001-02)にて客員研究員。JALT CALL SIG、CIEC外国語教育研究部会、JALT豊橋支部の共同創設者。CALL-EJの主幹編集者。Apple Distinguished Educator、GSE Thought Leader。多数の学術論文、著書有り。

基調
講演
2

「最新のAI技術と教育分野における応用の展望・可能性」

櫻井 鉄也 (SAKURAI Tetsuya)

1986年名古屋大学大学院修了後、名古屋大学助手、筑波大学助教授等を経て、現在、筑波大学システム情報系教授。2017年より筑波大学人工知能科学センターセンター長を務める。理化学研究所客員主幹研究員、放送大学客員教授、MathDesign社CEOを兼務している。専門分野は数値解析、とくに、高性能計算、データおよび画像の解析、ニューラルネットワーク計算等のアルゴリズムの研究を行っている。スーパーコンピュータ向けの固有値解法としてSakurai-Sugiura法を提案し、科学技術振興機構CRESTプロジェクトにおいて固有値解析エンジンを開発した。固有値解析アルゴリズムに関する研究業績により平成30年度科学技術分野の文部科学大臣表彰「科学技術賞」を受賞した。

講演
1

"E-learning, tablettes et smartphone ; l'intérêt des nouvelles technologies pour favoriser l'apprentissage de la langue française"
Eラーニング、タブレット、スマートフォンを使用する優れた新フランス語学習法

アダミ・シルヴァン (ADAMI, Sylvain)

青山学院大学文学部フランス文学科准教授。外国語としてのフランス語の教育法(特に最新のテクノロジーを駆使してフランス語の習得の効果を高めるeラーニング)とフランス語の地政学(世界各国の政治経済の変動に伴うフランス語の地位の変化)を研究

デュランベルジェ・ヴァンサン (DURRENBERGER, Vincent)

Vincent Durrenberger is a lecturer at Sophia University. He is also the creator and maintains a Francophone on-line community via social networks which are based around a resource site for learning French as a foreign language (www.podcastfrancaisfacile.com.) which had 3 million users in 2017.

講演
2

アマゾン・アレクサの教育利用の可能性

菊池 尚代 (KIKUCHI Hisayo)

地球社会共生学部准教授。現在、教育工学、第2言語習得、メディア・リタラシー、EMI (English Medium Instruction) を中心に研究。メディアコミュニティ、インタビュー実践、キャリアデザイン、グローバル社会メディア論などの授業を担当。

講演
3

Student and Teacher Assessment of CALL and MALL

ペイゲル・ジェームズ W. (PAGEL, James W.)

James W. Pagel is a professor in the College of Science and Engineering at Aoyama Gakuin University in Sagamihara, Japan. He is interested in the study of motivation, autonomous learning, and use of computers and mobile devices in language learning.

ランバッカー・ステファン G. (LAMBACHER, Stephen G.)

Stephen Lambacher is an associate professor of English in the School of Social Informatics at Aoyama Gakuin University in Sagamihara, Japan. His research interests include the use of CALL and mobile technologies, collaborative projects, and social media to enhance English learning and teaching.

プログラム

| | | | |
|-----|-------------|---------------------|---|
| | 9:30-10:00 | 受付 | |
| | 10:00-10:05 | 開催にあたって | |
| 第一部 | 講演 1 | 10:05-11:05 15606教室 | "E-learning, tablettes et smartphone ; l'intérêt des nouvelles technologies pour favoriser l'apprentissage de la langue française" Eラーニング、タブレット、スマートフォンを使用する優れた新フランス語学習法 |
| | 講演 2 | 11:05-12:05 15606教室 | アマゾン・アレクサの教育利用の可能性 |
| | | | <休憩/企業デモンストレーション60分> |
| 第二部 | 講演 3 | 13:05-14:05 15606教室 | Student and Teacher Assessment of CALL and MALL |
| | | | <休憩15分> |
| | 基調講演 1 | 14:20-15:50 17309教室 | 「マルチメディア・データベースを活用したアクティブ・ラーニング: 英語学習の成功・失敗事例からの考察」 |
| | | | <休憩5分> |
| | 基調講演 2 | 15:55-17:25 17309教室 | 「最新のAI技術と教育分野における応用の展望・可能性」 |
| | | 17:25-17:30 | 閉会の挨拶 |